

## 2021年度 大学入学共通テスト 英語リスニング(本試験)分析

放送時間30分

難易度	出題分量	出題傾向
やや難 特に1回読みの後半部分 (昨年度より難化)	大問数、読み上げ語数 ともに増	試行テスト通りに後半に1回読み問題あり。「聴く」「読み取る」「考える」のマルチタスクを求められている。
<b>総評</b> 試験時間は旧センター試験と変わらず30分である中に、読み上げ語数が25%程度増加していることと、第3問以降は1回しか読まれないこと、問題構造や選択肢もセンター試験に比べ難化していることから、特に後半が難しいと感じる受験生が多かったのではと予想する。読み上げに関しても、イギリスアクセントの話者やアジア英語と思われる話者も含まれており、大きくブロークンではないが話し方の多様化が見られる。		

### 大問別分析

大問	出題分野・テーマ	配点	設問別分析
第1問	日常会話での意志・内容把握 (モノローグ)	25点	A:5, 6語程度の文が1~2文読まれ、意志や説明の内容を把握する。選択肢も5, 6語からなる文ばかりだが、頭の2, 3語は4肢共通のものも多いため、異なる部分だけを素早く読んで判断する。 B:イラストについて説明した文を聴き取り、正しいものを選ぶ問題。読み上げられるのは10語前後の文だが、1語を聴き逃しただけで意味を取り違える可能性もあるが、2回よく聴けば正答できる。
第2問	イラストに関する説明 (ダイアローグ)	16点	2人の話者が話す(2往復)のを聴く問題。「取手が付いていますか?」「NO」などとハッキリした返答も多いため、聴きながら明らかに当てはまらないとわかる選択肢を消去していくことができる。
第3問	日常会話を聴きとって、問に答える (ダイアローグ)	18点	2人の話者が話す(2~3往復)のを聴き、問題冊子にある問に答える。選択肢が比較的短いものは答えを見つけやすい。日本語での状況説明とそれぞれの問題文中にあるキーワードを前もって把握しておくことがポイント。
第4問	A:グラフについて説明した文(アンケート結果、値下げリスト) (ダイアローグ) B:日本語で示された条件をもとに、それを満たすものを聴きとる。 (モノローグ×4)	12点	アンケート結果の円グラフや値下げリストに関する2人の会話を聴き、空欄を埋める。何に関するグラフでそのための選択肢はどのようなものかを素早く把握し、割合や値段などを表す数値を聴き逃さないようにする必要がある。最後に話をひっくり返す場合もあるため注意。 あらかじめ問題用紙に求めているもの(今回はNYでみるミュージカル)とその条件3つ程度が示されており、4話者の発言を聴いて最も条件にあうものを選ぶ。問題冊子の表を使って、聴きながら条件に合っているかどうかを○×とジャッジしていくと、1つだけ全ての条件を満たすものが見つかる。

第5問	あるテーマについての講義を聴き、ワークシートを埋めていく (モノローグ)	15点	問題冊子に日本語での状況説明とワークシートあり。英文が流れる前にそれらを読む時間はあるが、ワークシートが何を求めているのかは一目ではわかりにくい。講義を1回聴いて短時間で選択肢を選んで埋めていくのはかなり難易度が高い。例えば(28)～(31)ではデンマーク人の考えるHyggeと一般的イメージについて、聴き取った英文から判断して、選択肢の単語で端的に置き換えるとどれがふさわしいかを咄嗟に選ばなければならない。そのためたとえ日本語で講義を聴いてもこのワークシートを時間内に埋められない受験生がいるかもしれない。部分的にではなく、全体で内容を把握できないと内容一致させる設問にも答えられないため、最後まで集中して聴く必要がある。
第6問	A:ある話題についての2人の会話を聴き、問に答える。 B:複数人があるテーマについて意見交換しているのを聴き、問に答える。 (ダイアローグ)	14点	A:2人の話者があらかじめ問題冊子にて日本語で説明されたテーマ(今回はフランス留学)について話しているのを聴き、内容一致させる問題。会話が7～8往復するため前もって選択肢からキーワードを広い、設問の意図を理解したうえで聴くことで、間違いを避ける。メモを取ることもできる。 B:あらかじめ問題冊子にて日本語で説明された内容(今回は電子レシート)に関して4名で意見を交換するのを聴きとって、問に答える。会話の中でお互いが名前を呼び合うものの、4人の話者がいるため誰が何を話しているのかが混乱しやすい。さらに「賛成しているのは何人か」という問いに対しては「中立」や「ハッキリ賛成反対を述べていない」話者もいるため、人数カウントに注意が必要。

### 高2生へのワンポイントアドバイス

前年までのセンター試験リスニングと比較して、難化していることは試行調査からの予想通り。1回読みになると点数が取りにくくなる可能性がある。特に第4問以降厳しいと感じた受験生も多かっただろう。長めの文や会話になるとメモを取る受験生も多いが、母国語でない英語を「聴く」と「書く」のマルチタスクとすることで逆に理解度が下がってしまう可能性もあり、メモを取る場合も数字や記号などのシンプルなものとどめるのが得策だと思われる。

ただし、配点を見ると、2回読まれる第1,2問と1回読みでも比較的聴きやすい第3問までで100点中の59点を占めており、第4問以降の得点率が低くても6割得点することが可能な配分になっているため、来年度以降の受験生は

- 英語そのものが苦手、リスニングが苦手な受験生  
→第1,2,3問を確実に得点し6割以上の得点を目指す。
- 英語が得意、上位国公立・私立共通テスト利用方式志望者  
→第4問以降での得点を狙った対策で8割以上の得点を目指す。

といったレベル別、志望校別の目標設定をし、無駄のない学習をしてもらいたい。